

こどもからお年寄りまで笑顔があふれ
未来に希望のもてるまちづくり

4
2024
No.849

広報うりゅう



今月の表紙

卒業おめでとう!

中学校でも元気いっぱい頑張ろう!

関連記事P12掲載

■タウントピックス

- ・雨竜町第三赤十字奉仕団
新1年生に手作り交通安全キーホルダーを贈呈
- ・暑寒連山太鼓保存会が表彰!
- ・おいでサロンでコンサート
ロンリー田中さんがオカリナの音色を響かせる
→詳細はP17へ掲載

こどもからお年寄りまで笑顔があふれ 未来に希望のもてるまちづくり



令和6年度 町政執行方針

令和6年第1回雨竜町議会定例会が3月6日から13日の会期で開催されました。同定例会では、町政・教育行政執行方針説明と令和5年度補正予算、人事案件等について審議され議決されました。町政執行方針・教育行政執行方針・一般会計補正予算を紹介します。

令和6年雨竜町議会第1回定例会にあたり、町政執行にあたって私の所信を述べてさせていただきます。

昨年4月に町政運営を任されてから10か月が経過しました。

この間、町民の皆さんをはじめ、議員各位のご理解とご協力を賜りましたことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

5月には、長い間猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが緩和され、日常生活が戻ってきました。

一方では、世界的な情勢不安による物価の高騰や人手不足、気候変動など、これまでに経験したことのない事象が発生しています。

昨年夏の猛暑は、農作物にも大きな影響が及びました。

水稲の作柄は、品質の低下や収量減が見られたものの、総じて一等米の比率が高い出来秋となったことは大変喜ばしいことであります。

令和6年の元日には石川県能登半島地震が起き、甚大な被害が発生しました。震災によって亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被災者の方々に改めてお見舞いを申し上げます。

いつ・どこで・どんな災害が起こるのか分かりません。常に災害に備えた体制づくりや危機管理に万全を期していかねければならないことを、年頭から再認識したところであります。

被災地の一日も早い復旧・復興が進むことをご祈念申し上げます。

さて、昨年12月末に厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が公表した将来人口推計では、2050年の本町の人口は990人となり、2020年と比べ約6割の減少。更に、0歳から14歳人口、並びに15歳から64歳の生産年齢人口は約7割減、65歳以上の人口比率は約6割を占めるとの推計が出されたところであります。

加えて、1月末に総務省が発表した住民基本台帳に基づく2023年度の人口移動報告では、道内の転出超過が前年より増えてコロナ前の水準に戻り、東京一極集中が加速している状況にあります。

人口減少・少子高齢化に向かっている今、これまでの施策を検証しつつ、新たな取組みを進めていかなければなりません。

事業の推進にあたっては、

・子どもたちに「夢」を与えられるものであること

・若者が「希望」を持てるものであること
・お年寄りに「安心」を感じてもらえるものであること

を基本として、持続可能なまちづくりを目指してまいります。

以下、雨竜町振興基本計画の項目に沿って、施策の大綱を申し上げます。

産業振興による足腰の強い活力あるまちづくり

特色ある持続的な農林業の展開

後継者・新規就農者を守り育てるため、農業後継者未来応援事業の活用、就農コーディネートターによる新規就農者や就農研修者への支援を図るなど、関係機関・団体が一体となって新規就農者育成プロジェクトを進めてまいります。

スマート農業の基盤となる土地改良事業は、国営緊急農地再編整備事業雨竜暑寒地区の完了整備が行われ換地清算が始まることから、関係機関と連携を図り円滑に進めてまいります。

また、国営施設応急対策事業新雨竜二期地区では、南伏古及び逆川排水機場の改修工事が進められます。

道営経営体育成基盤整備事業では、北友南地区、東栄第1地区、東栄第2地区が継続整備されるほか、渭の津2地区の事業採択が予定されておりま。

更に、老朽化した幹線排水路整備では、洲本10号排水路の改修を農業水路等長寿命化・防災減災事業により進めてまいります。

環境に配慮した、安全で良質なブランド米「うりゅう米」の作付け及び出荷量拡大に向け、支援を拡充してまいります。

作付け戸数・面積が減少傾向にある「暑寒メロン」を生産する農家に対し、引き続き生産資材や種苗購入に係る経費の助成を進めてまいります。

有害鳥獣対策については、農作物をシカやアライグマの被害から守るため、地域住民や関係機関と調整を図り、役割分担をしながら一体となって被害の拡大防止に努めてまいります。

ます。

また、近年は居住地へのクマの出没が増えていることから、ヒグマ春期管理捕獲事業を実施するとともにヒグマ捕獲用箱罠を増設するなど、対策の強化を図ってまいります。

林業の振興については、森林資源の活用と水資源等の環境保全のため、除間伐等の各種事業を継続実施するとともに、町有林・民有林及び林道の計画的な維持・管理に努め、桂の沢北線林業専用道新設工事に着手してまいります。



産業間連携による活力ある商工業の展開

人口の減少等による購買力の低下や、燃料・エネルギー価格高騰・人件費の増など商工業

者を取り巻く環境が厳しい中、昨年は新たに4件の起業がありました。

経営の安定と近代化促進のため、利子補給事業を継続するとともに、起業・新規開業への支援や環境に配慮した店舗改修、にぎわいを創り出す取組み、更には生鮮食品販売等に伴う店舗整備への支援を新たに進めてまいります。

特産品開発については、町内で起業した事業者が、地元農産物を使った特産品の開発・製品化に取り組んでいるところでありま。

雨竜町特産品開発協議会を通じて、更に、民間企業との連携、共同開発などを積極的に進めてまいります。

地域の魅力を発信する観光の展開

本年は、雨竜沼湿原が北海道遺産に登録されてから20年を迎えます。雨竜を代表する観光スポットとして、引き続き登山客の適切な受け入れとゲートパーク施設の維持管理・環境保全に努めてまいります。

加えて、来年はラムサール条約登録湿地20年の節目を迎えます。

雨竜沼湿原の魅力と価値をPRするための準備を進めてまいります。

更に、道の駅の機能を充実させるべく、株式会社雨竜町振興公社や雨竜町観光協会と連携を密にして、情報発信に努めてまいります。観光客誘致の起爆剤として、引き続き観光誘客促進雨竜割引事業を進めてまいります。



明るく豊かな暮らしを守るまちづくり

美しい景観と暮らしやすい生活環境の融合

老朽化した住宅団地の建て替え事業では、昨年が続いて「わかば団地」E棟の整備を進めます。

既存住宅の長寿命化工事では「第2みどり団地」の外部等修繕工事を実施し、良好な住環境の整備に努めます。

宅地分譲では、雨竜町定住促進団地残り4区画の早期売却を図るため、新たに子育て世帯の転入と省エネ住宅を促進する「こどもエコすまいる支援制度」を新設し、雨竜町土地開発公社と連携のもと、各種定住促進関係施策のPRを強化して町内外からの定住促進に努めてまいります。

農業集落排水事業では、老朽化した満寿地区汚水処理場の機器の更新工事を進め、良好な施設管理に努めるとともに、西空知広域水道企業団と連携し、上下水道使用料のコンビ二収納を開始して、利便性の向上に努めてまいります。

廃棄物の適正処理と環境衛生の向上については、関係機関と連携し、不法投棄の監視や啓発活動を進めるとともに、雨竜町廃棄物処理基本計画に基づき、廃棄物処理を適切に進めてまいります。

石狩川緑帯整備事業については、堤内の不要木を伐採し、良好な環境となるよう整備してまいります。

安心・安全な暮らしの提供

防災・減災対策では、平成21年に整備した防災行政無線を更新するとともに、防災訓練の実施と防災用備蓄品の充実を図り、常日頃から災害に備え万全な体制を整えてまいります。

また、滝川地区広域消防事務組合江竜支署のタンク車の更新を進めます。

交通安全対策については、交通事故死ゼロ1000日を目標に掲げ、関係機関とより一層の連携を図るほか、地域の老朽化した交通安全灯の修繕に対し補助を実施するなど、交通事故の抑止に努めてまいります。

また、近年多発している高齢者による交通事故の防止対策として、高齢者運転免許証返納サポート事業により、自主的な免許証返納を呼び掛けてまいります。

生活交通手段の確保対策では、雨竜町地域公共交通活性化推進協議会等の意見も参考とし、深川滝川線路線バスを存続するための対策を進めるとともに、タクシー利用券の配布枚数を増やし、町外への利用範囲を拡大しています。更に利用者への利便性に配慮した事業を展開してまいります。

道路管理については、計画的な維持補修工事を実施し、冬期間においても的確な除排雪作業を行い安心安全な道路環境の確保に努めてまいります。

買い物支援対策では、雨竜町商業振興対策協議会の議論をもとに買い物バスの運行を継続してまいります。

雇用環境の創出と就業機会の確保

就労ニーズの多様化、人材不足により、常時雇用者やパート職員の人材確保も難しい状況にあることから、既存企業・商店における経営強化のため、事業拡充支援等による雇用環境を創出し、就業機会の確保と充実に努めてまいります。

健やかに暮らし続けることができる環境の整備

健康づくり・疾病予防・介護予防対策については、第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画に基づき、健康寿命の延伸を目指して疾病の早期発見と重症化予防対策を主眼に、各種健診・健康教育・相談事業・訪問事業等を継続し推進してまいります。各種がん検診、国保特定健診及び歯科健診については、自己負担の無料化を継続するとともに、定期的な受診を奨励し、若い時期から健康管理に役立てるよう周知に努めてまいります。

また、感染症予防対策については、インフルエンザ予防接種費用助成の単価を引き上げ、接種を希望する町民がさらに安心できる制度にまいります。

国民健康保険事業については、引き続き北海道国民健康保険運営方針を基に空知中部広域連合と連携してまいります。

妊娠・出産・子育て環境については、不妊治療の先進医療に係る経費も拡充して助成、高校生の通院費助成を新たに開始し、保育料の全額助成や、保育園の環境整備充実を図るなど、引続き子育てに優しい環境づくりに努めてまいります。

高齢者福祉については、第9期介護保険事業計画に基づき、生活支援体制整備事業及び認知症初期集中支援事業を継続実施し、高齢者支援サービスの拡充に努めてまいります。

また、いきいき館やパークゴルフ場については、利用者が快適な環境のなかで施設利用ができるよう環境整備を図ってまいります。

障がい者福祉については、障害者総合支援法及び第7期雨竜町障害福祉計画、第3期雨竜町障害児福祉計画に基づき、利用者にとって総合的かつ適切にサービスが提供されるよう支援してまいります。

明るい未来を描く教育・文化・スポーツのまちづくり

健やかな成長を支える教育の充実

雨竜町の豊かな自然、歴史や文化への理解を深めながら、社会の変化に対応し、自立の精神にあふれる子どもたちを育成する教育行政を推進してまいります。

情報技術やグローバル化の進展等社会的変化が激しい現代社会において、様々な困難を乗り越えて豊かな人生を切り開いていくための「生きる力」を身につけ、適切に判断して行動できる教育活動を展開します。

一人ひとりの自己肯定感を高めるとともに、全ての人を価値ある存在として尊重し、共に支え合う心を育み、「ふるさとよりゆう」に誇りと愛着を持つ児童生徒の育成を目指した学校教育を推進します。

本年度で導入から5年目となる小中一貫教育制度は、これまでに蓄積した経験を義務教育9年間の教育活動に反映し、地域とともにある学校づくりを進め、雨竜町学校教育の更なる充実を図ります。

学校法人田中学園立命館慶祥小学校との連携事業をより一層推進し、子どもたちの学力向上と学校間交流による学校力の向上を目指します。

仲間とふれあい笑顔あふれる生涯学習社会の形成

一人ひとりが健康で心豊かな生活を送るため、生涯学習社会の形成による「地域づくり」、「人づくり」、「仲間づくり」を推進します。

子どもたちの健全育成と幼児から高齢者まで生涯にわたる学習活動の充実を図り、各種

事業が学びに対応する動機づけにつながる多様な学習機会を提供してまいります。

心身ともに健康で明るく豊かな生活を送れるよう年間を通してスポーツの振興に努め、各スポーツ団体等と連携し、指導体制の構築や環境づくり、事業支援等を行ってまいります。芸術文化の振興については、各種文化団体の育成や活動を支援するほか、文化活動への参加や優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めます。

また、郷土伝統芸能保存活動に対する支援と推進を図ります。

社会教育施設の適正な維持管理と有効活用を努め、利用改善に取り組んでまいります。



住民参加による愛着のあるまちづくり

地域コミュニティ活動の推進

地域コミュニティを形成するうえで、町内会の役割は重要なことから、引き続き地域住民と行政の連携を図るとともに、町内会活動や地域を主体としたコミュニティ活動の支援に努めてまいります。

町に人を呼び込む活動の展開

交流人口や関係人口の拡大により、人口減少に歯止めが掛かるよう、定住促進事業の拡充と防災対策強化により、安心して住み続けたいくなる「うりゅう」の魅力を町内外に向けて情報発信してまいります。

ふるさと納税制度については、各種取り扱いサイトにおけるPRの強化、地方創生事業における学びの充実を目的とした小学生向け英語塾や、小学生向けプログラミング塾の開催による学習機会の拡充、都市からの交流人口増加を目的としたイベントの開催による地域活性化を図ってまいります。

地域おこし協力隊については、引き続き活動の支援をしていきながら、新たな隊員の募集を進めてまいります。

行政情報の積極的な提供と住民との対話の促進

町ホームページ、広報うりゅう、防災行政無線を活用した町民に必要な行政情報を的確に伝えるため、情報発信に努めてまいります。

また、住民ニーズを的確に把握するため、町政懇談会や町内会長会議を通して、町政への意見反映に努めてまいります。



行財政健全化の推進

行政水準の向上を図るため、健全財政の維持に努め、各種経費の節減・合理化及び財源の確保に努めるとともに、地方債の繰上償還による将来を見据えた健全な財政運営と各種基金の適切な運用、行政資産の適正管理に努めてまいります。

また、事務事業の効率化を図るため、地方公共団体情報システム標準化に関する法律に基づいた整備を進めるとともに、広域で構成する一部事務組合、広域連合、及び中空知定住自立圏を構成する市町と緊密に連携し、継続して取り組んでまいります。

おわりに

以上、町政執行の所信と基本的な方針について述べさせていただきました。

令和6年度一般会計予算総額は39億3,831万円。対前年度当初と比べ5・8%の増、6月補正後の予算と比べ8・3%の減となっております。

地方自治体を取り巻く情勢は益々厳しさを増し、取り組むべき課題は複雑多岐にわたりますが、持続可能な行政運営を進めるため、幅広く町民の皆様のご理解をいただきながら、山積する課題の解決に積極的に臨む所存であります。

町教育行政執行方針

すべての町民が学習することに
幸せを実感できる社会の実現



令和6年雨竜町議会第1回定例会にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

少子化、グローバル化といった社会の変化が急速に進む中、子どもたちや学校現場を取り巻く環境は日々、大きく変化しております。そのような中社会の変化に向き合い、主体的な判断、他者と協働して未来を切り拓く資質・能力が今、子どもたちに求められています。

全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現するためには、GIGAスクール構想により整備されたタブレット端末の更なる有効活用とICT環境の充実、授業改善取組の推進により、より一層子どもたちの学習活動を深めていくことが重要であります。

地域の宝である子どもたちの健やかな成長と、「ふるさとよりゆう」に誇りと愛着を持つ「児童生徒」の育成を目指した雨竜町の特色ある学校教育を引き続き推進してまいります。

すべての町民が学習することに幸せを実感できる社会の実現を目指し、生涯にわたって主体的に学ぶことが大切です。

生き生きと学び続ける社会と健康で生きることの喜びを感じ、一人ひとりが心豊かに人生を過ごすために、生涯学習社会の構築による「地域づくり」、「人づくり」、「仲間づくり」への動機づけを図ります。

文化やスポーツの振興を通じ、地域ぐるみで「いつでもどこでも・だれでも」そして「みんないきいき・のびのび」と生涯にわたって学習活動に参加できるよう、「第7次雨竜町社会教育中期計画」に基づき社会教育を推進してまいります。

以下、具体的項目について申し上げます。

学校教育

学校経営

学びの機会を保障し、子どもたち一人ひとりの可能性を引き出し、持続可能な社会の創り手として成長していくことができるよう学校教育を推進してまいります。

自分の良さや可能性を見出し、自己肯定感を高めるとともに、すべての人を価値のある存在として尊重し、共に支え合うことができ、児童生徒の育成を目指します。

小中一貫教育による系統的な教育課程の検証と改善を行い、学力の向上とともに個性や能力を伸ばし、義務教育9年間を修了するにふさわしい学力・体力・豊かな心の育成に努めます。

小学校と学校法人田中学園立命館慶祥小学校との連携事業を推進し、雨竜町での体験交流活動と田中学園の外国語教育を軸に児童及び教職員の相互交流により、資質や能力の伸長を図ってまいります。

教育課程

自分の学びを振り返り次につなげる、周りの人たちとともに考える、知識を関連付けて考えを形成する「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教育課程を適切に編成、実施、評価、改善し、教育の質の向上に努めてまいります。

「社会に開かれた教育課程」の視点に立ち、地域や社会との繋がりの中から学びを深め、広げていく学校づくりを進めるとともに、まちの教育資源を活用した「ふるさとキャリア教育」を積極的に展開し、雨竜町としての特色ある教育活動を推進してまいります。

2学期制教育課程により、適切な授業時数の確保と適正な学習評価を行い、教職員が子どもたちと向き合う時間の一層の確保に努めます。

また、小学校と学校法人田中学園立命館慶祥小学校との学校間連携を通じ、児童同士の相互学校訪問を実施し、外国語教育やプログ

ラミング教育の強化を進めてまいります。

学習指導

基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得を図り、「生きる力」を育むため、「学んだことの一つ一つの知識がつながり、「わかる」」でできる「役立つ」が実感できる教科横断的な学習を実践し、主体的な学習態度の育成に取り組めます。各種調査等の結果を分析し、学力・学習状況の把握・検証に努め、教員加配制度の活用及び教員免許所持者による学習指導専門支援員の配置を継続し、学力向上対策と校内指導体制の強化を図り、組織的な授業の改善を推進してまいります。

また、小中学校教員の一貫教育制度導入のメリットを活かした相互乗り入れ授業、合同研修の実施などにより、教職員全員が指導の在り方について共通認識を持ち、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、より一層の授業改善に努めてまいります。

道徳教育

児童生徒が発達の段階に応じて、人権に関する知識を身に付け、自己の生き方を「考え」、意見の違う他者と「議論する」道徳の授業に取り組み、自他を尊重する態度を育成します。雨竜町の豊かな自然、歴史や文化への理解を深め、教育活動全体を通じて「ふるさと うりゅう」に誇りと愛着を持つ児童生徒の育成を目指します。

また、小中学校で外部講師を招聘し、研究授業を実施するとともに、道徳教育推進教師を中心に、全教職員で指導計画や指導方法の工夫・改善に取り組む、さらに9年間を見通した「ピア・サポートプログラム」を活用し、児童生徒の好ましい人間関係を育む取組を教育課程に位置づけ、道徳教育を推進してまいります。

特別活動

社会や集団の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度

を育てるため、一人ひとりがお互いの「個性」を認め合い、助け合う望ましい人間関係を構築する活動を推進します。連帯感や達成感を養い、児童生徒が自らの成長を実感できる特別活動の実践に取り組んでまいります。

総合的な学習の時間

課題解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度や、自己の生き方を考えることができる資質・能力を育てるため、自らが課題を設定し、ねばり強く取り組む活動を通して解決する能力や表現力を身につける学習を推進します。

地域の教育資源を最大限に活用し、将来の人生観・社会観・職業観を培う職場体験学習や米づくり等の実習活動をPTAや町内関係団体の協力を得ながら進めてまいります。

生徒指導

一人ひとりの個性、能力、適性等を伸ばし、自己実現を果たすことができるようきめ細かな指導に努めてまいります。「命の大切さ」や「いじめを許さない心」を醸成するため、「雨竜町いじめ防止基本方針」に基づき、各学校及び小中学校合同での対策と取り組みを実施し、すべての子どもたちが「いじめは絶対に許さない」という意識を持ち、望ましい人間関係を築く力を育む指導を徹底してまいります。

いじめ、不登校、非行等の未然防止、早期発見、早期解決に向けて関係機関及び家庭と迅速に対応するとともに、スクールカウンセラーを積極的に活用し、教育相談機能の充実に努めます。

また、小中学校在籍時の心や体の経年変化を小中全教職員で共有し、データベースカルテを活用してきめ細かな指導に努めてまいります。

健康・安全指導

児童生徒が健やかに成長するため、健康的な生活の習慣化と安全に対する意識の向上を

家庭や地域と連携を図りながら進めてまいります。

子どもたちの体力向上に向け、教職員の資質を高め、多様化する健康課題への対応や9年間を見通した体力向上策を講じてまいります。

新十津川町との学校給食共同実施において、雨竜町産農産物を含めた地産地消を推進し、安全で安心な給食を提供するとともに、食物アレルギーを持つ児童生徒については情報を共有し、「雨竜町学校給食における食物アレルギー対応」のマニュアルに基づき、適切に対応してまいります。

小学生を対象としたフッ化物洗口については、虫歯予防対策として継続実施いたします。火災や自然災害、不審者等に対応すべく、避難訓練や集団下校訓練を実施するとともに「二日防災学校」を行い、防災教育の充実に努めることとします。

また、薬物乱用防止教室を北海道警察や関係機関と連携して実施し、若年層からの薬物に対する啓発活動を行います。

児童生徒の安全確保を優先かつ機能的に実施するための「学校危機管理マニュアル」を全職員が共通理解し、迅速かつ組織的に対応ができるよう徹底を図ってまいります。

特別支援教育

教育的ニーズと本人、保護者の願いを把握し、個別の指導計画及び教育支援計画において、教職員が共通理解を図りながら児童生徒一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばせるよう特別支援教育を推進してまいります。

また、特別支援教育コーディネーターを中心に情報の共有と適切な指導や支援に努めるとともに、特別支援教育支援員を配置し、きめ細かな支援体制の充実に努めてまいります。

情報教育

多様な子どもたち一人ひとりの個別最適な学びの実現に向け、資質・能力を確実に育成するICTを適切に活用した「教育の情報化」

を積極的に推進します。児童生徒が学校及び家庭において端末を有効に活用し、学習できる体制を構築してまいります。

本年度より本格的に導入する学習支援ソフトにより、双方向授業の充実を図り子どもたちの学習への興味、関心を高め、思考力、判断力、表現力及び情報活用能力の育成に努めてまいります。

教育環境

中学校における部活動は、将来にわたって子どもたちがスポーツや文化、芸術に親しむことができる機会として諸条件を整えていくことが必要であり、部活動の地域移行について、生徒にとって望ましい持続可能な活動と学校の働き方改革の両立を目指して、北空知圏域市町との協議を進めてまいります。本年度は保護者の負担軽減を図るため、合同チームでの練習に係る送迎を農作業繁忙期間中に試行的に実施します。

子育て支援策の一環として学校給食費の助成と、修学旅行費助成を引き続き実施するとともに、就学時に必要となる世帯に対しては、就学援助制度の入学前適用に対応してまいります。

カナダトロント国語教室との交流については、受け入れに向けた準備を進めてまいります。

働き方改革

限られた人的資源を効果的に活用しながら真に必要な教育活動に注力するため、学校における働き方改革を推進し、教職員が業務に専念できる環境を整備します。

校務の効率化や事務作業に要する時間の削減を図るための校務支援システムを導入し、ICTを積極的に活用した教育活動や業務を推進してまいります。

社会教育

幼児・青少年教育

次代を担う子どもたちの健全育成を図るため、生後10か月の乳幼児をはじめ、保育園年中児、小学1年生及び中学1年生を対象とした「ブックスタート事業」を継続し、家庭・地域・学校における読書活動の推進と読解力向上を目指し、環境整備を推進します。

小学生を対象とした「ちびっこチャレンジ教室」については、引き続き様々な分野の講師を招致し、町内での開催を主に実施してまいります。

また、保育園児や小学校低学年を対象とした「水泳教室」など、様々な体験活動と学習機会を提供するとともに、親子で参加できる事業も展開し、保護者の交流の場と子育て支援を行います。

さらに、雨竜高等養護学校の協力のもと実施している「ウッドスタート事業」をはじめ、「雨竜町ジュニアスクール」や、子ども会育成連活動への支援、小中学生を対象とした「リーダー養成講習会」を引き続き実施してまいります。

成人教育

多様化・高度化する学習ニーズを的確に把握し対応するため、各種団体やサークル活動の育成支援を行ってまいります。健康づくりや体力づくりに関する教室など基礎から応用までを推進する一連の機会を設け、より多くの方に興味を持って参加していただけるよう教室内容の充実を図ってまいります。

高齢者教育

高齢者が明るく健やかで有意義な生活を送るため、健康を保持し、教養を深め、生涯にわたって学習できる雨竜町高齢者の学びの場「いきいき学園大学」を引き続き開催し、学習内容の充実を図ってまいります。

スポーツ振興

北海道日本ハムファイターズとの連携協力により、20回目の開催となる「キッズサマーキャンプin雨竜」をはじめ、本年1月に包括連携協定を締結した女子バレーボールチームアルテミス北海道との共同事業により、運動教室等を開催し、幼少時からの体力づくりと身体を動かす楽しさを醸成することを目的とした様々な取組を展開し、町民がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会の提供に努めてまいります。

芸術文化振興

雨竜町の文化活動を行う方々が発表する貴重な機会である「町民文化祭」の開催をはじめ、芸術や文化団体の育成と活動支援を行ってまいります。

また、郷土伝統芸能を「うりゆう」の歴史的文化として次世代に伝承するため、今後も郷土伝統芸能の活動に対して、積極的に支援してまいります。

社会体育施設維持管理

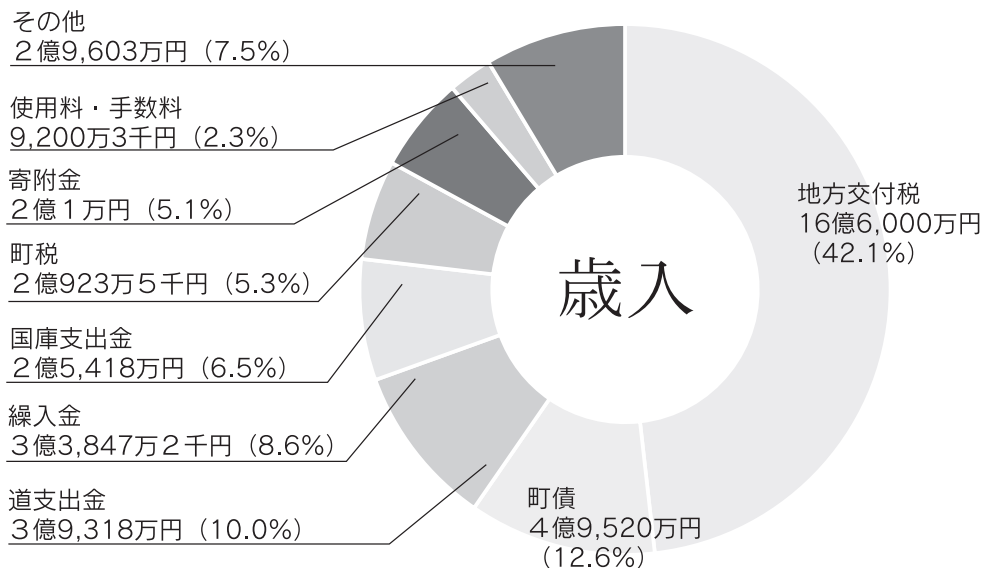
社会教育活動を行う上での拠点となる各施設の適切な維持管理と有効活用に努め、利用者視点に立った施設の環境改善に取り組んでまいります。

おわりに

以上、令和6年度の教育行政に関する基本的かつ重点的な事項について申し上げます。子どもたちの健やかな成長を支える学校教育の充実と町民一人ひとりが生きがいを感じ、仲間とふれあい笑顔あふれる生涯学習社会の構築を目指すため、教育に携わる全ての関係者がそれぞれの果たすべき役割と責務を自覚し、地域に根ざした教育行政の推進に最善の努力をしてまいります。

※「%」は、一般会計予算に占める割合を示しています

※1人あたりの金額は、令和6年2月末人口2,101人で割り返した金額です。



地方交付税

国が財源の不足する市町村に配分するお金

町債

事業を行う場合の財源不足を補うための借金

道支出金

特定の事業に対し、道が支出する補助金

繰入金

事業を行うために貯金から取り崩すお金

国庫支出金

特定の事業に対し、国が支出する補助金

町税

皆さんが納めた税金

寄附金

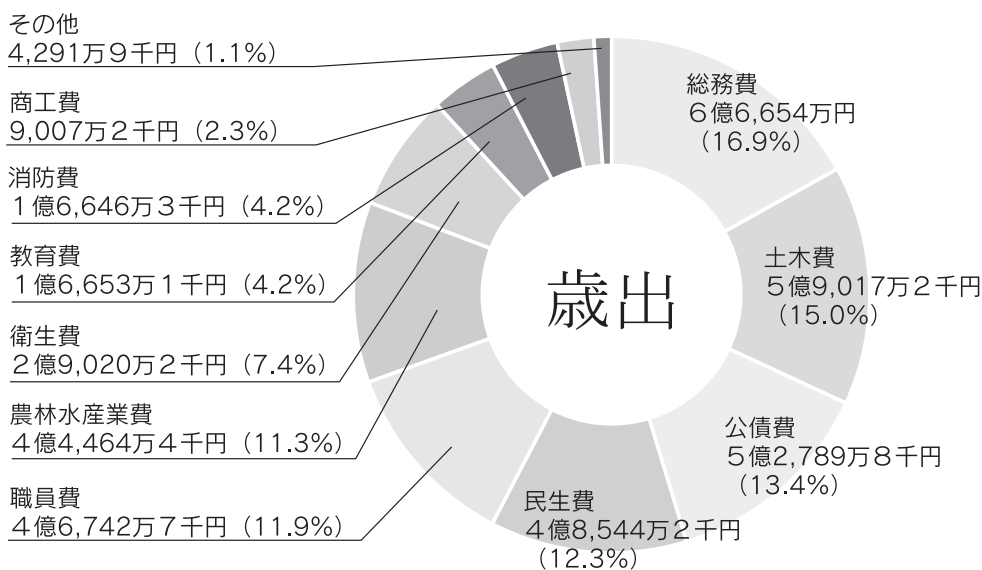
町への寄付金やふるさと納税

使用料・手数料

公共施設使用料、住民票などの交付手数料

その他

国からの交付金や財産収入



総務費

町の運営、企画、ふるさと納税に関する経費

土木費

道路整備や除排雪、公営住宅の管理に関する経費

公債費

町の借金に係る返済

民生費

福祉サービスや保育園運営に関する経費

職員費

職員の給料など

農林水産業費

農業振興や土地改良事業に関する経費

衛生費

保健・医療や環境対策に関する経費

教育費

学校教育や文化・スポーツ振興などに関する経費

消防費

消防活動に対する負担金など

商工費

商工業振興や観光振興に関する経費

その他

議会運営などに要する経費など

一般会計予算概要

産業の振興

・ライスコンビナート改修事業	31,350千円
・中山間地域等直接支払事業	123,617千円
・多面的機能支払事業	126,327千円
・うりゅう米作付奨励助成事業<拡充> ～作付面積500円/10a助成及び出荷率に応じ数量払	7,500千円
・暑寒メロン生産資材費助成事業 ～ハウス設置(新規4割、更新3割)及び種苗費等助成	4,400千円
・農地整備事業 ～北友南地区、東栄第1・第2地区基盤整備事業	32,219千円
・農地基盤整備事業夏期工事助成事業	9,360千円
・農業水路等長寿命化・防災減災事業 ～洲本地区排水路の長寿命化改修	34,000千円
・新規就農者育成事業 ～新規就農者に対する農地賃借料・住宅料等の助成 新規就農者予定者に対する研修手当、営農指導助成	7,492千円
・うりゅう農業後継者未来応援事業 ～後継者の機械取得や免許など150万円/人を限度に交付	7,500千円
・農業次世代人材投資事業	2,075千円
・うりゅう商店街元気づくり活性化事業<拡充> ～起業・新規開業や店舗整備、雇用創出費用などを支援	14,985千円
・うりゅうにぎわいUP事業 ～プレミアム率20%の割増付き電子マネー発行	5,525千円
・特産品開発協議会補助金交付事業	1,500千円
・観光誘客促進雨竜割引事業	1,300千円

生活環境施設の整備

・町道維持補修事業	16,763千円
・道路整備新設改良事業 ～町道牧岡8号線の設計及び改修工事など	29,454千円
・石狩川等緑樹帯樹木管理事業	9,000千円
・公営住宅改修等事業	15,700千円
・わかば団地公共賃貸住宅建替事業 ～わかば団地E棟の完成及び外構工事	341,743千円
・公営住宅等長寿命化改修事業 ～第2みどり団地D棟外部改善工事	35,700千円
・滝川地区広域消防事務組合設備等更新事業 ～江竜タンク車の更新	43,920千円
・消防設備等改修事業 ～老朽化した町内消火栓の更新	1,771千円

暮らしの安心

・防災関連通信施設整備事業<新規> ～防災行政無線設備全体更新を実施	198,000千円
・中空知生活交通確保対策事業	1,903千円
・タクシー利用助成事業<拡充> ～65歳以上の高齢者及び身体障害者手帳保持者に加え、 高校生から65歳未満の運転免許未所持者にも利用拡大	5,020千円

医療・福祉事業の推進

・子育て支援保育料助成事業(保育料無償化)	8,040千円
・子育て支援事業(妊婦健康診査)<拡充>	1,144千円
・インフルエンザ予防接種費用助成事業<拡充> ～予防接種費用2,500円/回→3,000円/回に拡充し助成	3,182千円
・子ども医療費助成事業<拡充> ～未就学児から高校生までの入通院費を助成	6,745千円
・保育園改修等事業	2,474千円
・長寿祝金交付事業	3,310千円
・冬季生活支援事業 ～低所得世帯への1万円分のふれあい商品券交付	2,000千円
・高齢者生活支援推進事業 ～配食サービス、雪下ろし支援の助成	2,492千円
・いきいき館修繕事業	2,400千円

教育環境の整備

・学校給食費保護者負担軽減事業 ～児童生徒の学校給食費の概ね6割を助成	9,809千円
・修学旅行保護者負担軽減事業 ～修学旅行費の概ね4割を助成	630千円
・校務支援システム導入事業<新規>	1,557千円
・改善センター等改修事業	3,970千円

まちづくりの推進

・ふるさと納税返礼事業	120,647千円
・地方創生推進事業<新規> ～学びの充実等に資する事業を実施	14,000千円
・雨竜町住まいる定住促進事業 ～出産祝金交付、若者定住、持ち家奨励金を交付	13,149千円
・こどもエコすまいる支援事業<新規> ～子育て世帯の転入促進及び省エネ住宅の新築支援	5,000千円
・未来のうまいづくり事業	3,000千円

祝 卒業・卒園おめでとう!

3月19日



雨竜小学校 卒業生16人

卒業生16人は在校生や保護者、学校関係者に向かって「将来は農家になりたいです」「中学校で勉強と部活を頑張りたいです」など、将来の夢や中学校での目標を大きな声で述べて、卒業証書を受け取りました。

三好考央校長から「皆さんはこれから新しい世界にチャレンジします。臆することなくチャレンジいっぱいの中学校生活を送ってください」と激励の言葉が送られました。

在校生からは、卒業生一人ひとりに感謝の言葉が送られ、卒業生と一緒に『Believe』を歌いました。

式典の最後には卒業生が『未来へ』を合唱し、会場は感動に包まれました。



3月23日

雨竜保育園 卒業生10人

卒園児たちは可愛らしい衣装に身を包み保護者や先生が見守る中、元気に返事をして卒園証書を受け取りました。

瀧山直美園長から「ありがとうございますの気持ちを大切にして、家族やお友達にたくさん伝えてあげてください」と式辞の言葉が送られました。

式の最後には、卒園児が『だいすきだよ。』を斉唱し、先生や友達に「だいすきだよ。ありがとうございます」と感謝の気持ちを届けました。



3月12日

雨竜中学校 卒業生14人



義務教育課程を修了した14人の雨竜中学校の3年生。卒業証書授与では、堂々とした表情で3年間の成長の証を受け取りました。

清水一伸校長からの式辞では「皆さんが培ってきた自ら考え主体的に行動する姿勢は未来を切り開く原動力です。これからも皆さんが大いに活躍することを願っています」とはなむけの言葉が送られました。

卒業生代表の橋本来依さんは「保育園からずっと一緒に過ごしてきた仲間と離れるのは寂しいですが、これからはそれぞれが将来に向かって違う道を歩んでいきます。また会おう、群青で」と答辞を述べ、卒業生で合唱曲『群青』を、生徒全員で『旅立ちの日に』を歌い、会場は感動に包まれました。



3月8日

雨竜高等養護学校 卒業生31人



式典では在校生代表の送辞でお世話になった卒業生へ感謝の言葉が送られた後、卒業生代表の答辞で「学校祭で未来の同窓会を演じたときのように、将来みんなで集まりたいと思っています。この学校で過ごした掛け替えのない日々は宝物です」と高校生活の思い出が述べられました。

また、廊下にはマフラーやランチョンマット、コーヒーカップ、米俵などそれぞれの科の特色が表現された卒業制作が飾られ、3年間の思い出であふれていました。

春の人事

このページでは、小・中学校・高等養護学校の転出される方から寄せられたごあいさつを掲載します。

転入される方につきましては、次号にて紹介します。

Personnel Changes In Spring

雨竜小学校



諭 教
半 澤 雅 人

このたびの異動で、滝川市立西小学校へ赴任することとなりました。雨竜小学校では、6年間お世話になり、多くの経験をさせていただきました。

明るく素直で、何事にも一生懸命に取り組む子どもたちと、常に協力的な保護者や地域の皆様のおかげで、大変充実した毎日をおすごすことができました。6年間で2度も卒業担任をさせていただけたこと、算数・理科に加えて中学校数学のT・Tも担当させていただけたことなど、教員として大変貴重な経験を積むことができました。

雨竜の子どもたちや保護者、地域の皆様への感謝の気持ちを忘れずに、新任地でもがんばっていききたいと思えます。本当にありがとうございました。



諭 教
向 井 沢 美

雨竜小学校では6年間勤務させていただきました。赴任してすぐ1年生の担任となり、その子たちの卒業と同時に異動というのはなんだか感慨深いものがあります。素直で何事にも一生懸命に取り組む素晴らしい子どもたち、どんなことでも温かく協力的な保護者の皆様と過ごせた雨竜小学校での6年間は充実した楽しい毎日でした。大変有り難い環境で勤務させていただきましたことに感謝いたします。暑寒の山々を見ながらの通勤は季節を感じましたし、町民文化祭で作品や発表を見させていただったり、神楽や暑寒太鼓など伝統的なものも間近で見ることが出来たのも思い出となっております。短い間ですが大変お世話になりました。ありがとうございました。



諭 教
古 関 仁 久

雨竜小学校では、3年間でしたが大変お世話になりました。小・中の連携のもと、先進的な教育を進めている学校で、子どもたちと一緒に生活ができたことを大変うれしく思っています。子どもたちは、小学生と中学生が一緒になって素敵で楽しい学校を作り上げることがあたり前であるかのようなすばらしい雰囲気を感じられています。雨竜町の学校やここで生活をしていることで、地域の誇りや自信を持ちたくましく生活をしている様子から、私自身とても励まされました。3月で退職を迎えますが、今までの教職員生活をもとにして、これからの自分の人生を充実したものにしていきたいと思っています。

地域の皆様、本日まで本当にありがとうございました。

雨竜高等養護学校



頭 教
藤 川 昌 貴

この度、旭川高等支援学校へ異動することになりました。27年4月から教諭として約6年半、令和3年9月から教頭として約2年半、合計9年間に渡ってお世話になり、大変寂しい気持ちでいっぱいです。

開校以来、本校は現場実習をはじめとする地域との関わりを通して、生徒は多くの学びと成長する機会をいただいております。大変感謝しております。今後とも生徒達への変わらぬ御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、雨竜町のますますの御発展と町民の皆様への御多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

雨竜中学校

Personnel Changes In Spring



頭 教

研 谷 靖 夫

雨竜中学校で3年間、お世話になりました。雨竜沼湿原をはじめとする自然豊かな雨竜町で過ごすことができ、本当に幸せでした。また、子ども達や保護者・地域の皆様、教育関係者の方々に支えられ、充実した環境で仕事をする事ができました。学校から見える景色も素晴らしいのですが、自宅から間近に見える小中学校の校舎も大好きでした。4月からは、故郷である深川の小学校に転勤します。雨竜小中学校での経験を生かし、今後も子どもたちのために精一杯頑張ります。ありがとうございました。



教 諭

村 上 和 徳

6年前、雨竜町に転勤してきから、あつという間に時が過ぎ、この地を離れることになってしまいました。担任や部活動、PTA活動では保護者の皆様に温かいご支援をいただき、大変感謝しております。教育委員会をはじめ、地域の方々には、総合的な学習の時間の職場体験や学校行事、子供会等で大変お世話になりました。雨竜は、生徒たちも一生懸命に努力する生徒ばかりでした。体育大会で大声で仲間を応援していた姿、委員会活動で新たな企画に挑戦しようとする姿、部活動で本気で笑ったり泣いたりした姿。そのどれもが今でも心の中に浮かび上がってきます。雨竜町での経験を生かし、次の勤務地でも、教育に尽力したいと思えます。皆様もどうかお元気で過ごしてください。今までも本当にありがとうございました。



教 諭

光 野 さとみ

雨竜中学校で6年間お世話になりました。雨竜町は、私が中3の頃よく聴いていたラジオのDJカラスさんの出身地で、当時雨竜町でラジオのイベントがあったので雨竜まで来てイベントに参加したので覚えています。思い出の町で勤務することができ、うれしく思いました。多くの地域の方や優しい保護者の方から子どもたちの教育に協力していただき、多くの体験をして頑張る生徒たちに出会いました。小学校と合同で行事を進める中学生は、しっかりとした顔、優しい顔で輝いていました。また、うりゅう米のおいしさにも感激しました。雨竜をアピールしてふるさとの良さを再確認する機会として、宿泊研修で札幌でうりゅう米の販売許可をしていただいた教育委員会や雨竜振興公社の方に感謝しています。多くの方々に変なお世話になりました。ありがとうございました。



事務職員

伊 藤 楓

雨竜中学校で4年間お世話になりました。この4年間、児童生徒の皆さん・保護者の皆様をはじめ、地域の方々にはたくさんのご支援とご協力をいただきまして、ありがとうございました。赴任した当初は大学を卒業したばかりということもあり、不安でいっぱいでしたが、雨竜町の皆様が作り出す温かくて優しい雰囲気にとっても助けられました。現在までもその雰囲気がおかげで安心して働くことができました。雨竜町の自然豊かな環境もとても魅力的で、通勤の際に何度も美しい景色を見ることができ、その度に心が動かされることが思い出されます。こんなに魅力的な町で勤務することができて、とても嬉しく思います。雨竜町でのたくさんの経験を次の勤務地でも生かし、努めていきたいと思えます。大変お世話になりました。ありがとうございました。

雨竜町人事

【特別職】 ■ 町長 白川 久純
 ■ 副町長 源 英博
 ■ 教育長 糸谷 尚徳

課(局)	課長	担当名	主幹	主査	主任	主任級主事
総務課	課長 安田 尚之	総務	梶田 勝也	山下 隼平	岡本 北斗	川口 瑞紀
		企画財政	長原 康雄	鎌田 昭仁	加藤 直弥 (新規採用)	十河 惇哉
住民課	課長 高瀬 則道 (住民課室長)	保健	佐々木 未歩 (住民課保健担当主幹[業務])	井添 誠二		西田 由香里
				工藤 祐馬 (教育委員会教育担当主査)		城宝 茉央 (新規採用)
				高見 七美		鈴木 千尋 (教育委員会教育担当主事)
		福祉生活環境	青柳 祐揮枝 (住民課福祉担当主幹)	宗近 佳子 (住民課福祉担当主査)	(再)中野 義久 (住民課福祉担当主任)	黒島 諒貴 (住民課福祉担当主事)
				押切 隆紀 (住民課福祉担当主査)		池田 光希 (住民課福祉担当主事)
						藤井 陵 (新規採用)
産業建設課	課長 中野 達也	農政林務	宗近 秀靖	谷口 正人	宗石 創	西田 真智 (産業建設課農政林務担当主事)
					金山 仁 (新規採用)	
		商工観光	小川 智代 (住民課保健担当主幹[事務])		(兼)金山 仁	大坂 翠
	技術長 西井 浩司	建設管理	(扱)西井 浩司	杉本 政人		梅原 祐哉 (産業建設課建設管理担当主事)
				田中 邦彦		
		(定)浅田 好則 (農業委員会事務局長)				
室長(農村整備) 村本 邦広	農村整備	佐々木 督	野々宮 博介			
出納室	会計管理者 先名 輝彦 (教育委員会教育課長)	税務会計	小川 和宏	伊藤 隆博 (総務課企画財政担当主任)	(再)芳本 幸子	岩塚 圭輔
教育委員会事務局	教育課長 瀧山 智治 (住民課長)	教育	北川 忠	滝川 裕美子	高坂 直幸 (住民課保健担当主任)	堀籠 成希 (産業建設課農村整備担当主任級主事)
						真島 健太 (新規採用)
農業委員会事務局	事務局長 (兼)中野 達也	農地	事務局次長 藤田 岳民 (出納室税務会計担当主査)			(兼)西田 真智
議会事務局	事務局長 小宮山 めぐみ (出納室会計管理者)	議会		石川 実砂希 (議会事務局主任)		

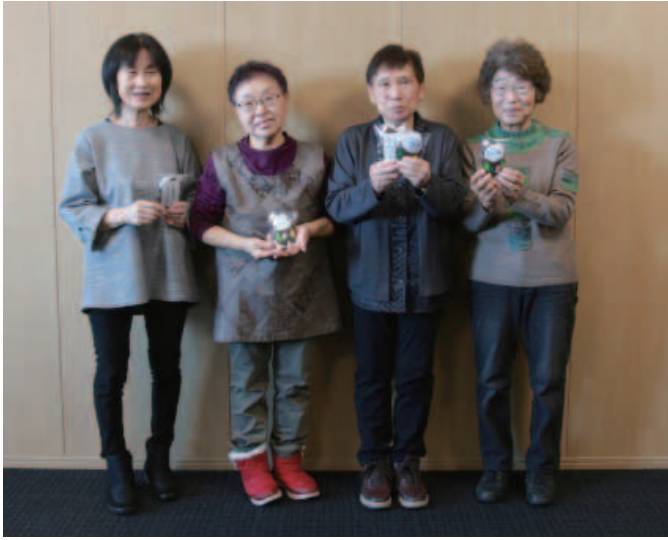
(勤務) 雨竜町社会福祉協議会 (再) 中野 義久

【退職】 議会事務局長 鈴木 久人 (令和6年3月31日付)

※ 白抜きは4月1日付人事異動者

名前の中の()は前職等

(兼) …兼務 (扱) …事務取扱 (再) …再任用 (定) …定年延長



雨竜町第三赤十字奉仕団 新1年生に手作り交通安全キーホルダーを贈呈

雨竜町第三赤十字奉仕団（長谷川ふみ子委員長・委員20人）が3月14日、新1年生10人の交通安全を願って、手作りキーホルダーを雨竜小学校へ贈呈しました。

長谷川委員長は「入学おめでとうございます。交通安全に気を付けて、元気に通学してください」と話してくれました。

暑寒連山太鼓保存会が表彰！

雨竜町暑寒連山太鼓保存会（大熊裕章会長）が3月13日、空知管内教育実践表彰の社会教育表彰（団体）として北海道教育庁空知教育局長から表彰されました。

今回の表彰は、町内外の様々な場で日本古来の伝統文化である和太鼓演奏を披露し、伝統文化の次世代への伝承に尽力していることと、挨拶・礼儀・異年齢間の交流などを大切にする実践を通じ、地域振興や青少年健全育成の面からも管内社会教育の振興発展に大きく貢献されたとするものです。

大熊会長は「地域の方々の応援のおかげで今回賞をいただくことができました。今後も子どもたちの笑顔を大切に活動していきたいです」と話しました。



おいでサロンでコンサート ロンリー田中さんがオカリナの音色を響かせる

おいでサロン主催によるオカリナコンサートが3月14日に公民館で開催され、約50人が足を運びました。上砂川町在住のオカリナ奏者であるロンリー田中さんが『見上げてごらん夜の星を』『川の流れるように』など16曲を演奏しました。また、三宅由美さん（9町内）もオカリナで『夜桜お七』（坂本冬美）を披露しました。

廣長隆子さん（9町内）は「オカリナの演奏を聴く機会はあまりないので来てみましたが、とても素晴らしい音色でした」と話しました。



未来のうまい人づくり事業 実施報告

～人材育成事業を活用し実施された事業を紹介します。～

うりゅう暑寒漬合同会社が研修視察を実施（2/13～15 京都府・奈良県）

うりゅう暑寒漬合同会社（高田聡子代表）の2名が京都府及び奈良県において、漬物製造の研修視察を実施しました。

奈良県においては、奈良漬の奈良屋を視察し、製造工程の見学及び懇談により、白瓜、メロン、スイカなどの漬物製造について学びました。また、漬物に使用される野菜は県内の生産農家から仕入れ、地産地消の取組も推進していることや、JAS認定の取得、漬物製造において発生する酒粕を活用した肥料製造の取り組みなども伺うことができました。

京都府においては、志が漬けの里「土井志ば漬本舗」を訪れ、志ば漬けの製造工程や店舗見学を行った中で、使用するチソの育成や、色々な野菜の漬物の販売状況を見学し、漬物製造の歴史についても学びました。

この研修を通し、漬物製造に対する思いが更になり、自分たちで作る漬物が皆さんの食卓のご飯のおともになるものを作っていきたいと話していました。



※事業を活用してみませんか

未来のうまい人づくり事業を活用して研修事業等を行う場合は、事業実施の2か月前までに申請をお願いします。事業の詳細はホームページをご覧ください。か総務課企画財政担当窓口（☎77-2211）までお問い合わせください。

バス運行時刻の変更について

4月1日からバス運行時刻が変更となりますので、次のとおりお知らせいたします。

1 深滝線

○滝川方面行き

平日ダイヤ	追分発	雨竜発	滝川駅前着
	7:09	7:14	7:46
	7:44	7:49	8:21
	8:29	8:34	9:06
	9:24	9:29	10:01
	12:24	12:29	13:01
	16:24	16:29	17:01
	17:39	17:44	18:16
	18:24	18:29	19:01
19:34	19:39	20:11	
土日祝ダイヤ	追分発	雨竜発	滝川駅前着
	7:44	7:49	8:21
	13:34	13:39	14:11
	18:04	18:09	18:41

○深川方面行き

平日ダイヤ	雨竜発	追分発	深川市立病院前着
	6:57	7:03	7:32
	7:42	7:48	8:17
	8:07	8:13	8:42
	12:57	13:03	13:32
	15:42	15:48	16:17
	16:57	17:03	17:32
	18:12	18:18	18:47
	19:47	19:53	20:22
土日祝ダイヤ	雨竜発	追分発	深川市立病院前着
	8:07	8:13	8:42
	12:57	13:03	13:32
	18:12	18:18	18:47

《お問い合わせ先 空知中央バス滝川営業所 電話 24-6191》

2 高速るもい号

○雨竜町内→札幌駅前

追分市街発	雨竜市街発	札幌駅前着
13:13	13:17	15:22
15:33	15:37	17:42

○札幌駅前→雨竜町内

札幌駅前発	雨竜市街着	追分市街着
7:20	9:22	9:26
19:05	21:07	21:11

《お問い合わせ先 北海道中央バス滝川営業所 電話 24-6191》

雨竜町住まいる定住促進事業

町では定住促進事業として、本町に定住を確約される方で、交付要件をすべて満たした方を対象に奨励金を交付します。

出産祝金交付事業

雨竜町出産祝金

金額：第1子 5万円（うち商品券2万円）
第2子 10万円（うち商品券3万円）
第3子以降 100万円（うち商品券22万円）

※第3子以降は3回に分けて交付
（2回目は3歳時、3回目は6歳児）

対象：父または母が出産時に2年以上本町に在住養育子が同居（定住）している方

申請：出生届の届日後
第3子以降の2・3回目は時期到来後

窓口：住民課保健担当 ☎77-2212

若者定住奨励事業

転入者奨励金・農業新規参入者奨励金

金額：単身世帯 10万円／家族世帯 20万円

対象：満45歳以下の転入者で、通年雇用の常勤労働者

申請：転入（在住）・就業ともに2年経過後

窓口：総務課企画財政担当 ☎77-2211
産業建設課農政林務担当 ☎77-2213

新規学卒者就業奨励金

金額：10万円

対象：新規学卒後3年以内に就業した通年雇用の常勤労働者

申請：転入（在住）・就業ともに2年経過後

窓口：総務課企画財政担当 ☎77-2211

結婚定住祝金

金額：1組 10万円

対象：町内に2年以上在住・就業している方

申請：婚姻届の届出日以降

窓口：総務課企画財政担当 ☎77-2211

持ち家定住奨励事業

宅地奨励金

●土地開発公社分譲地または新規転入者のその他の土地購入

金額：購入費の1/2（上限150万円）

●町内在住者のその他の土地購入

金額：購入費の1/3（上限150万円）

対象：いずれも土地売買契約後5年以内に住宅を新築された方

●定住促進団地の購入

金額：販売価格から5円/坪を控除した額

対象：土地売買契約後3年以内に住宅を新築された方

申請：いずれも住宅の建物表示登記完了後

窓口：総務課企画財政担当 ☎77-2211

持ち家奨励金

●1,000万円以上の新築住宅

金額：工事請負金額の10%（上限300万円）

●100万円以上の住宅リフォーム

金額：工事請負金額の10%（上限100万円）

対象：いずれも町内業者に発注した方

●空き住宅の解体

金額：工事請負金額の1/3（上限30万円）

対象：町内の空き住宅付き宅地を購入後1年以内に住宅を解体し、新築工事を着工した方

申請：新築またはリフォーム工事完了後

窓口：総務課企画財政担当 ☎77-2211

交付条件や対象の可否など詳しい内容につきましては、各担当窓口までお問い合わせください

こどもエコすまいる支援事業

令和6年度から新規事業として、子育て世帯の転入及び新築における省エネ設備の導入によるゼロカーボンの推進を図ることを目的に助成事業を行います。

■助成の内容

- 転入世帯 250万円
 - 中学生以下の子ども1人につき 50万円
 - 北方型ZERO対応住宅の場合 50万円
- ※上記の合計で500万円を上限
※雨竜町住まいる定住促進事業における持ち家奨励金（新築）との併用はできません。

■助成対象

町外在住者で、中学生以下の子ども1人以上と同居・養育する世帯を対象に、土地開発公社分譲地を購入し住宅を新築した方。

■お問い合わせ

総務課企画財政担当 ☎77-2211

お得に貯めよう！

令和6年度

雨竜町行政ポイント

雨竜町では商工会と連携し、UPカード加盟店の売上や集客力の向上を目的に、町が行う各種事業に参加した方や行政サービスを利用した方に対して「行政ポイント」を付与しています。この「行政ポイント」はUPカード加盟店でご利用できます。

実施日については、担当課または広報うりゅうなどでご確認ください。

雨竜町行政ポイント付与対象事業一覧

分野	事業名	担当課	付与ポイント
人口拡大	転入者	住民課	500
	出生届	住民課	500
健診事業	健康診査（国保・後期・若年）	住民課	50
	がん検診（肺・胃・大腸・子宮・乳・前立腺）	住民課	50
	エキノコックス症検査	住民課	50
	ピロリ菌検査	住民課	50
	J A巡回総合ドック	住民課	50
	歯科健診	住民課	50
	健診結果説明会・保健指導	住民課	50
	乳児・1歳6か月・3歳健診	住民課	50
参加型事業	さわやか健康クラブ	住民課	50
	冬期健康相談会	住民課	50
	生活習慣病予防教室	住民課	50
	うりゅうキッズクラブ	住民課	50
	フッ素塗布	住民課	50
	いきいき学園大学	教育委員会	50
	レディーススクール	教育委員会	50
	身体に良いことやってみ隊	教育委員会	50
	ウォーキング講座（R6より）	教育委員会	50
	健康ウォーキング手帳	住民課	1万歩で1ポイント



まだ作っていない人は作ってね！

竜三郎



お問い合わせ

雨竜町行政ポイントに関すること（産業建設課商工観光担当） ☎ 77-2248

UPカードに関すること（商工会） ☎ 77-2155

雨竜町出産・子育て応援給付金事業

すべての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して様々なニーズに応じて支援する伴走型支援と経済的支援を一体的に実施する事業です。妊娠届出時および新生児訪問等の面談実施後に給付金を支給します。

出産応援給付金

○支給対象者

雨竜町に妊娠届出をした妊婦
(妊娠届出時に保健師との面談
(及びアンケートを記載していること)

○支給額

妊娠1回につき5万円

○申請期間

(妊娠届出時面談後から、
出産の前日まで(妊娠中))

いずれも申請の際には、
振込口座が確認できる書類(通帳)を
お持ちください。

※申請時点で雨竜町に住所を有する方が対象となります。

※他の自治体で「出産・子育て応援給付金事業」による給付を受けている場合は対象になりません。

子育て応援給付金

○支給対象者

雨竜町で出生した児童を養育する方
(新生児訪問等で保健師との面談
(及びアンケートを記載していること)

○支給額

児童1人につき5万円

○申請期間

(新生児訪問等の面談後から、
児童が4か月を迎えるまで)

お問い合わせ 住民課保健担当 保健師 (☎77-2212)

雨竜町難病患者の通院費の助成制度

雨竜町では、難病患者の方が専門の医療機関へ通院するための交通費の一部助成事業を行っています。通院費の助成を受けるためには、申請手続きが必要です。詳しくは、住民課保健担当へお問い合わせください。

※令和6年4月1日より通院費の積算方法が変更になりました。

■助成対象

国・道が指定する特定疾患に該当し、特定疾患医療受給者証等の交付を受けている方が対象です。

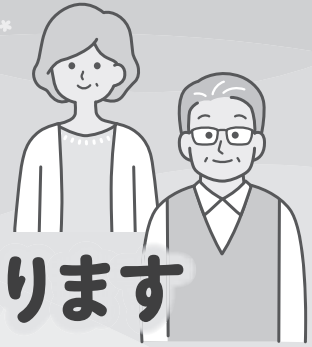
※町から認定された特定疾病療養受療証の交付を受けている方は助成対象になりません。

お問い合わせ 住民課保健担当 窓口6 (☎77-2212)

肺炎の主要な原因である

肺炎球菌の感染症を

予防できるワクチンがあります



65歳の方などを対象に定期接種を実施しています。

定期接種の対象と使用するワクチン

■対象となる方(定期接種は①、②、③を通して生涯で1回のみとなります)

① 65歳の方

注意

定期接種の機会は**65歳の1年間**です。定期接種の対象となる方で、接種を希望する方は、**接種の機会を逃すことがないよう**ご注意ください。

注：65歳を超える方を対象とした経過措置は2024年3月31日に終了しました。

② 60～64歳で

心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活を極度に制限される方

③ 60～64歳で

ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

■定期接種で使用するワクチン：23価肺炎球菌ワクチン

注：過去に23価肺炎球菌ワクチン[一般名：23価肺炎球菌荚膜ポリサッカライドワクチン、商品名：ニューモバックス NP]の接種を受けたことがある方は定期接種の対象となりません。

■申込方法:65歳を迎えた方に対して、個別に「受診券」を郵送します。「受診券」が届きましたら新雨竜第一病院(☎77-2121)へ予約してください。

ワクチンの効果

○肺炎球菌には90種類以上の血清型があり、定期接種で使用される「23価肺炎球菌ワクチン」は、そのうちの**23種類の血清型を対象としたワクチン**です。

お問い合わせ 住民課保健担当 窓口6 (☎77-2212)

雨竜町在宅精神障害者社会復帰施設等交通費助成制度

雨竜町では、統合失調症等の精神疾患を有する方で、社会復帰施設等に通所している方に対し、通所にかかる交通費を助成しています。

交通費の助成を受けるためには、申請手続きが必要です。

詳しくは、住民課保健担当へお問い合わせください。

※令和6年4月1日より交通費の積算方法が変更になりました。



お問い合わせ 住民課保健担当 窓口6 (☎77-2212)

町民カレンダー 4月▶5月



健康スケジュール・休日夜間在宅医・イベントなど総合情報カレンダーです。

4/10 水	追分サロン 10:00~12:00(追分コミセン)	21 日	[外科系当番] 滝川市立病院	2 木	ボランティアカフェ 13:00~17:00(公民館) いきいき学園大学 10:00~12:00(公民館)
11 木	おいでサロン 10:00~12:00(公民館) ボランティアカフェ 13:00~17:00(公民館) うりゅうオレンジカフェ 14:00~16:00(公民館ボラカフェ内) いきいき学園大学 10:00~15:00(公民館)	22 月	いきいき館浴室定休日	3 金	[外科系当番] 滝川脳神経外科
12 金	心配ごと相談 13:30~15:00(公民館)	23 火	おいでサロン 10:00~12:00(公民館) 乳児・1歳6か月児・3歳児健診 受付11:30~12:00(いきいき館)	4 土	[外科系当番] 滝川市立病院
13 土	[外科系当番] 滝川市立病院	24 水		5 日	[外科系当番] 滝川脳神経外科
14 日	[外科系当番] 滝川脳神経外科	25 木	おいでサロン 10:00~12:00(公民館) ボランティアカフェ 13:00~17:00(公民館)	6 月	[外科系当番] 滝川市立病院
15 月	うりゅうキッズクラブ 10:00~11:00(いきいき館)	26 金		7 火	おいでサロン 10:00~12:00(公民館)
16 火	さわやか健康クラブ 10:30~12:00(いきいき館)	27 土	[外科系当番] 滝川市立病院	8 水	追分サロン 10:00~12:00(追分コミセン)
17 水		28 日	[外科系当番] 滝川市立病院	9 木	おいでサロン 10:00~12:00(公民館) ボランティアカフェ 13:00~17:00(公民館) うりゅうオレンジカフェ 14:00~16:00(公民館ボラカフェ内)
18 木	おいでサロン 10:00~12:00(公民館) ボランティアカフェ 13:00~17:00(公民館)	29 月	[外科系当番] 滝川脳神経外科	10 金	心配ごと相談 13:30~15:00(公民館)
19 金		30 火			
20 土	[外科系当番] 滝川脳神経外科	5/1 水			

家庭ごみ収集日程表 4/10~5/10

	燃やせるごみ	生ごみ	その他
市街地区東	4/10、17、24、5/1、8	4/12、16、19、23、 26、30、5/7、10	燃やせないごみ 資源ごみ 4/22 4/18
市街地区西	4/11、18、25、 5/2、9		燃やせないごみ 資源ごみ 4/27 4/19
農村地区東	[ステーション] 4/10、24 [戸別] 4/15、29、5/6	【ステーション】 4/12、16、19、23、 26、30、5/7、10	燃やせないごみ 資源ごみ 4/22 4/25
農村地区西	[ステーション] 4/11、25 [戸別] 4/20		燃やせないごみ 資源ごみ 4/27 4/26

ご不明な点は住民課福祉生活環境担当までお問い合わせください。

休日・夜間の急病相談

滝川市立病院(内科・外科)
滝川市大町2丁目2番34 ☎22-4311
滝川脳神経外科病院(外科)
滝川市西町1丁目2-5 ☎22-0250
上記以外のお問い合わせ先
当番病院案内ダイヤル
☎22-2299
またはかかりつけ医にご確認ください。
滝川地区広域事務組合のホームページにも休日夜間当番医が掲載されています。
<http://takifire.com/other/touban/>



無料法律相談会

☎ 木村司法書士・行政書士事務所
☎79-2552

- ▶主催 雨竜町商工会
- ▶日時 4月23日(火) 13時から15時
- ▶会場 公民館
- ▶相談時間 1人につき30分
- ▶相談内容 相続、登記、債務整理など

ごみ袋の減免措置

☎ 住民課福祉生活環境担当
☎77-2212

次の要件を満たす世帯は、減免申請により令和6年度の一般廃棄物処理手数料の減免を受けることができます。

単身世帯は2千円相当、その他の世帯は4千円相当のごみ袋または粗大ごみ処理券をお渡しします。

▶減免条件 次のいずれかに該当する世帯の方で、町民税非課税かつ町税を滞納していないこと。

◆生活保護世帯

◆世帯全員70歳以上の高齢者世帯

◆「母子及び父子並びに寡婦福祉法」の規定による母子及び父子世帯

固定資産課税台帳価格の縦覧

☎ 出納室税務会計担当
☎77-2246

令和6年度固定資産税の土地及び家屋価格等縦覧帳簿の縦覧と、全標準宅地価格の公開を役場担当窓口で行っています。縦覧とは、自己資産の評価が適正であるかどうかを判断するため、自分と他人の資産との価格比較をすることができる制度です。(縦覧の手数料は無料です)

▶縦覧期間

4月1日(月)～5月31日(金)

▶縦覧条件 土地及び家屋価格等縦覧帳簿を縦覧できる方は雨竜町に所在する土地・家屋の固定資産税の納税者及びその同居の家族など代理権のある方。
※縦覧時に納税者であることを確認しますので、運転免許証などの確認できるものを持参してください。なお、償却資産は縦覧の対象ではありません。

お知らせ

心配ごと相談・行政相談・介護保険月例相談
☎ 住民課福祉生活環境担当 ☎77-2212

民生児童委員・行政相談委員・人権擁護委員・介護保険オンブズパーソンが対応します。心配ごと等のある方はお気軽にご相談ください。

- ▶日時 5月10日(金) 13:30～15:00
- ▶場所 公民館

自衛官募集案内

☎ 自衛隊旭川地方協力本部
☎0166-55-0100

○自衛官候補生

▶資格 日本国籍を有し、採用予定月の1日現在18歳以上33歳未満の男女
▶受付期間 年間通じて受付を行っています。

▶試験日 5月12日(日)・13日(月)いずれか1日

▶会場 陸上自衛隊旭川駐屯地

○一般曹候補生

▶資格 日本国籍を有し、採用予定月の1日現在18歳以上33歳未満の男女
▶受付期間 5月7日(火)まで

▶試験日 5月18日(土)・19日(日)いずれか1日

▶会場 陸上自衛隊旭川駐屯地

前期技能検定受検者募集

☎ スキルアップセンター空知
☎24-1880

▶受付期間 4月3日(水)～16日(火)

▶受検資格

●1級 7年以上または2級取得後2年以上の実務経験を有する方

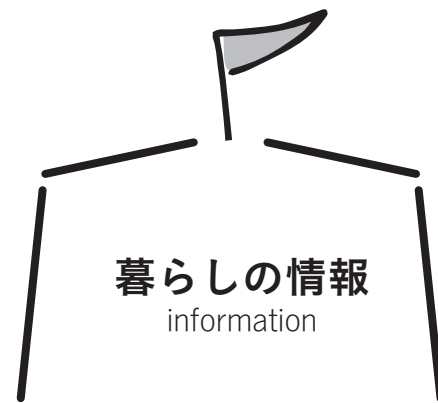
●単一等級 3年以上の実務経験を有する方

●2級 2年以上の実務経験を有する方または3級取得者

●3級 検定職種従事者または該当する科目で職業訓練・高等学校・短期大学・大学など各種学校の在校生を含む

▶実施職種 造園、とび等

※経験年数の短縮・免除や受検手数料等詳しいことはお問い合わせください。



☎…問い合わせ先

■人口

- 全体 2,090人 (-11)
 - 男性 1,025人 (-5)
 - 女性 1,065人 (-6)
 - 世帯 1,050世帯 (+5)
- 3月31日現在
※()内は前月比

■よろしくお願ひします

■さよならお元気で

■おくやみ

■ご厚志

雨竜町社会福祉協議会・
社会福祉事業資金として

雨竜町老人クラブ連合会

■ふるさと納税

3,859件 148,488,700円
(今年度累計 3月15日現在)

タウンピックス

雨竜ライオンズクラブが
中学校卒業生に記念品を贈呈！



雨竜ライオンズクラブ（糸谷尚徳会長）が3月11日、雨竜中学校3年生14人に義務教育課程を修了することに伴い、お祝いとして記念品を贈呈しました。

同クラブが昨年から中学校の卒業生に対して何かできないかという思いで始めた取り組み。

糸谷会長は「卒業おめでとうございます。雨竜中学校を忘れず元気に過ごしてください」と話しました。

YOSAKOIソーラン祭り市民審査員募集
園 YOSAKOIソーラン祭り実行委員会
会 ☎011-231-4351

演舞を観て感じた『感動』が審査基準のため、特別な技術や知識は必要ありません。

▶とき 6月8日(土)9:30~19:00、9日(日)9:30~21:00の中で3~4時間

▶ところ 札幌市中央区大通公園周辺

▶活動内容 YOSAKOIソーラン祭りにおける演舞の審査

▶定員 180人程度（抽選）

▶申込 4月1日(月)~30日(火)

HP・FAX・郵送で申し込みください

※応募用紙はHPから入手可

FAX 011-233-4351

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター4階

消防署からのお知らせ
園 滝川消防署江竜支署
☎75-3119

○春の火災予防運動

期間 4月20日(土)~4月30日(火)
全国統一防火標語「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

○第1回危険物取扱者試験

▶実施日 5月19日(日)

▶試験地 旭川市、北見市ほか

▶願書受付期間 4月4日(木)から4月11日(木)まで（書面・電子申請）

▶合格発表予定日 6月7日(金)

○第2回危険物取扱者試験

▶実施日 6月16日(日)

▶試験地 札幌市ほか

▶願書受付期間 4月23日(火)から4月30日(火)まで（書面・電子申請）

▶合格発表予定日 7月5日(金)

○第1回消防設備士試験

▶試験日 5月19日(日)

▶試験地 札幌市ほか

▶願書受付期間 4月4日(木)から4月11日(木)まで（書面・電子申請）

▶合格発表予定日 6月21日(金)

●共通事項

▶願書提出先

消防試験研究センター北海道支部

※願書は最寄りの消防署へお問い合わせください。

※令和6年度から危険物取扱者、消防設備士試験の書面申請と電子申請の受付期間が同じになりました。申請期間をお間違いないようご注意ください。



新刊のお知らせ

～改善センター図書室～

一般書

冬に子供が生まれる
そして誰かがいなくなる
八月の御所グラウンド
県警の守護神 警務部監察課訟務係
毎日おみそしる365日
かざらないひと「私のものさし」で
私らしく生きるヒント
季節を楽しむかわいい切り紙
上達の早さは逆算思考で決まる！
てらゆーのゴルフスコアメイク大全

(佐藤正午)
(下村敦史)
(万城目学)
(水村舟)
(今野敏)

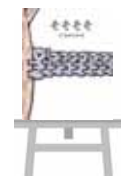
(月と分社)
(うへはらかずよ)

(てらゆー)
全18冊

児童書

おすしがあるひたびにでた
ことばいいかええほん ふわふわとちくちく
おねえちゃんていいなあ
カチコチれいぞうこだいさくせん
ひみつのはからもの
もこもこあわあわだーれだ？

(田中達也)
(齋藤孝)
(くすのきしげのり)
(ユン・ジョンジュ)
(豊福まきこ)
(やまざきなみこ)
全18冊



そそそ
たなかひかる 著



君の背中に見た夢は
外山薫 著



犬は知っている
大倉宗裕 著



みなさんのおかげで
木梨憲武 著

有料広告

JA住宅ローンキャンペーン 令和6年9月末迄

【固定変動選択型】キャンペーン対象条件から2項目ご利用で

3年固定 ▷0.60%

5年固定 ▷0.95%

10年固定 ▷1.05%

※下記の団信加入の場合は加算有
3大疾病保障+0.1% 連生一般団信+0.2%
連生3大9大疾病保障+0.3%

さらにJAバンクで定める省エネ住宅対象基準に適合するとお借入日より

3年間 年0.30%引下げ

キャンペーン対象条件

必須項目①かつ②~⑥のうちから1つ
①JAネットバンク ②給与振込
③公共料金の口座振替 ④JAカード
⑤JAローンご利用中の方
⑥当JAで年金受取を予約された方、
又は当JAで年金を受取されている方

借入対象者 ・当JAの組合員または新たに組合員になっていただける方
・前年度年収150万円以上、勤続年数3年以上

借入金額 10万円以上10,000万円以内

借入期間 3年以上50年以内

担保 対象の土地・建物に対し、第一順位の抵当権設定登記

※固定期間終了後は変動金利型または固定変動選択型を選択いただけます。

※いずれの金利にも別途、保証料がかかります（一括・分割のいずれかを選択）

※金融情勢等の変化により金利を見直しさせていただく場合がございます。

※ご返済方法等、ご融資の詳細については窓口へお問い合わせ下さい。

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますのであらかじめご了承ください。

JAきたそらち 雨竜支所 TEL 0125-77-2331



雨竜町地域おこし協力隊

足立壮太郎

2021年6月着任
残り約2か月



齋藤賢悟

2021年9月着任
残り約5か月



みなさん、こんにちは！協力隊の足立です！私、足立の進退については、5月任期満了後の6月からは隣の滝川市の会社に就職が決まりました。雨竜町に住みながら、通う予定です！町内で見かけた方はぜひ、声をかけてください！

雨竜町の地域おこし協力隊について率直な意見や感想をお聞きしたく、アンケートを作成しましたのでお答えいただけますと幸いです。任期満了まで、雨竜町の地域おこし協力隊としてしっかり活動していきますので、よろしく願いいたします。

アンケートへの協力願ひ



各種SNSで

発信中



新規就農に向けて奮闘中！

このまちを

作・中尾有里

(372)



万華鏡

広き部屋もらいし我に山笑う
更地なる来期も出るか露の臺
狭き畑まだ土見え春を待つ

北川 満江(第七町内)

農日記春の作業を書き始め
検診の結果を待つ身日永かな
ひな納め四十年の月日終え

吉見サヨ子(第五町内)

残雪に足を落として深さ見る
冴え返る 褥の冷たさ身の縮む
旅立ちの風は追い風春の雲

小山 邦男(第一町内)

薄氷をまたぎ最後の登校日
また一つ母の役目を卒業す
春光の注ぐベッドの一つ空き

宮武めぐみ(第一町内)

雪解けが進み、だんだんと乾いた路面が見られるようになりました。

運転中は急な飛び出しや、周囲の思わぬ行動で危険な場面に遭遇することもあります。スピードダウンとシートベルトの着用を習慣として、安全運転を心掛きましょう。

